

平成 28 年度

琉球大学大学院法務研究科  
(法科大学院)

学生募集要項  
(2次募集)



## ◆入学者選抜の基本方針◆

高い人格と倫理観を持ち、人間味に溢れ、それゆえに地域の人々から深い信頼を得ることができる（すなわち「地域にこだわる」）とともに、日本の法制度と法律を深く理解して、地域の問題を国や世界に発信し、諸外国の法曹とも渡り合える力を持った法曹（すなわち「世界を見つめる」法曹）の養成という当法科大学院の理念に共鳴し、そのような法曹になりたいという熱意と、その素養を持った者を募集します。特に英語力が優れた者には特別枠を設けます。また、多様な人材を確保する観点から、資格や経歴を積極的に評価するなど、社会人・他学部出身者を幅広く受け入れるように配慮します。

## ◆平成 28 年度入学者選抜 2 次募集日程◆

事 項	期 日
出願期間	平成 28 年 2 月 1 日（月） ～ 2 月 19 日（金）【必着】
選抜試験	※既修者コース・・・法律試験と面接試験 平成 28 年 2 月 28 日（日）
	※未修者コース・・・面接試験 平成 28 年 2 月 27 日（土）～ 平成 28 年 3 月 6 日（日）
合格者発表	平成 28 年 3 月 17 日（月） 11:00
入学手続	平成 28 年 3 月 23 日（水） ～ 3 月 25 日（金）

未修者コースの選抜試験は、受験生と相談のうえで、琉球大学、札幌・仙台・東京・大阪・名古屋・福岡などの中核都市、受験生が居住する地の県庁等所在地等において、上記日程の範囲内で行います。

既修者コースの選抜試験は、上記のとおり、平成 28 年 2 月 28 日に行いますが、受験地は、未修者コースと同様に、受験生と相談のうえで、琉球大学、上記の中核都市、受験生が居住する地の県庁等所在地等において行います。

なお、成績優秀者については、初年度の授業料の全額または半額が免除されます。

### 琉球大学 法科大学院係

（文系総合研究棟 1 階 事務室）

〒 903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地

TEL : 098-895-8091 FAX : 098-895-8187

E-mail : law@w3.u-ryukyu.ac.jp

ホームページ : <http://www.law.u-ryukyu.ac.jp/>

## 1. 募集人員

2年コース（法学既修者対象） 若干名（特別選抜若干名を含む。）
3年コース（法学未修者対象） 若干名（特別選抜若干名を含む。）

### 2年コースについて

- ※2年コースの合格者は、刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱを除く1年次配当の必修科目29単位を履修したものとみなし、2年次に配置します（カリキュラム変更があった場合、認定単位数は増減する可能性があります）。なお、2年コースの合格者には、4月初頭に、刑事訴訟法に関して既修者としての実力があるかどうかを試す試験を受ける機会が与えられ、合格した場合、その科目を履修したものとみなします（受験は任意です。日程等の詳細は追って通知します）。
- ※2年コースは、法学部出身者でなくても受験できます。

### 併願について

- ※2年コースと3年コースの併願ができます。また、一般選抜と特別選抜の併願も可能です。併願することによって受験料が増額されることはありません。
  - ※2年コースと3年コースを併願した者の合否判定は、2年コースから行います。3年コースの合否判定では、法律試験の結果は考慮しません。
  - ※先行する日程の試験を受験した者も、その合否に拘わらず、今回の試験を受験することができます（ただし、通常の受験料が必要です）。したがって、A日程やB日程で3年コースのみに出願・合格した者が、今回の2年コースを受験することも可能です（3年コースの合格者として入学料を納付している場合には、2年コースに合格した場合でも、入学料は不要です）。
- なお、成績優秀者授業料免除制度の該当者の判定は、日程毎に行うので、今回の試験で成績優秀と認められた場合には、授業料が免除されることもあり得ます。

### その他

- ※選抜にあたっては、多様な人材を確保するため、合格者に占める社会人・非法学部出身者の割合ができるだけ3割を下回ることに留意します。
- ※社会人とは、大学の学部を最初に卒業した後、学部または大学院で学んだ期間を除き、入学時において満3年以上を経ている者をいいます。ただし、その間、専ら資格試験・国家試験等の受験準備をしていた者は除きます。
- ※非法学部出身者とは、以下のいずれにも該当しない者をいいます。
  - ①大学で修得した専門科目の単位数のうち法律科目の占める割合が3分の1以上である者
  - ②大学院で取得した専門科目の単位数のうち法律科目の占める割合が3分の1以上である者
- ※特別選抜合格者には、当法科大学院のインターナショナル・ロイヤー・コース（基礎法学・隣接科目について所定の授業科目2単位以上、展開・先端科目について所定の授業科目8単位以上を修得することを内容とするコースです。なお、修得しなければならない単位数の合計は通常のコースと同じです。）を履修していただきます。

## 2. 出願資格

本研究科に入学を志願できる者は、財団法人日弁連法務研究財団が実施した「2015年法科大学院全国統一適性試験」を受験した者です。なお、適性試験の成績が悪かった者も出願することはできませんが、その成績が著しく低い者（おおむね下位15パーセント以下の「スコア」しか取れなかつ

た者がこれに該当します。) についての合否判定は、慎重に行われることとなります。

また、特別選抜への出願については、上記の出願資格に加え「(注1) 特別選抜の出願について」を満たすことが必要です。

なお、第9号の資格に関しては、「(注2) 飛び級による出願について」を参照してください。

- (1) 大学を卒業した者及び平成28年3月までに卒業見込みの者
- (2) 独立行政法人大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び平成28年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成28年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成28年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成28年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学省大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成28年3月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (8) 学校教育法第102条第2項の規程により大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (9) 平成28年3月末日において、大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者（注2）
- (10) 本研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者及び平成28年3月までに22歳に達する者

※ 上記出願資格(8), (9), (10)により出願しようとする者は、できるだけ早く、琉球大学法文学部・観光産業科学部法科大学院係 **(3. の(4)「出願・試験に関するお問合せ先」**参照)へ直接お問い合わせください。資格審査に関する書類をお送りします。なお、出願期間との関係で、遅くとも平成28年2月5日（金）までには資格審査に関する書類を受け取れるようにしてください。

(注1) 特別選抜の出願について

英語の得点が右のいずれかを満たしていること	TOEFL-PBT	575 点以上
	TOEFL-iBT	88 点以上
	TOEIC	800 点以上

(注2) 飛び級による出願について

第9号の「大学に3年以上在学し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者」として出願するためには、以下の要件を満たす必要があります。

- ①平成28年3月末時点で、大学在学期間が3年以上となる見込みであること（休学期間は在学期間に含まれません。）
- ②平成28年3月末時点で、卒業所要単位のうち94単位以上を修得できる見込みであること
- ③出願時点で提出可能な最新の成績証明書において、修得したすべての単位のGPA（4段階方式）が3.30以上であること

なお、入学試験合格後、上記①②に定める要件を満たさないことが確定したときは、入学許可を取り消します（③のGPAの要件に関しては、出願時点で提出可能な最新の成績証明書のみで判断します。）。

### 3. 出願手続および出願書類等

出願書類を提出する際には、不備がないよう確認し、封筒に入れて、**書留郵便**で送付してください。なお、直接持参する場合の受付時間は、8時30分から17時15分までとします。ただし、土曜日及び日曜日は、受付をしません。

なお、選抜試験の日程調整のために、出願書類を受領してから数日以内に、法科大学院係から電話連絡させていただくので、連絡がとれる状態でいてください。

(1) 出願期間

平成28年2月1日（月）～2月19日（金）（必着） （窓口での受け取りは2月19日（金）17:15まで）
---

(2) 出願に必要な書類等

出願書類等	摘 要	一般選抜	特別選抜
① 入学志願票	本研究科所定の用紙に記入すること。 受験を希望する試験場欄に忘れずに○を付してください。	○	○
② 適性試験の成績等	「2015年法科大学院全国統一適性試験成績証明書」を <b>添付</b> すること。	○	○

③ 検定料納付証明書	入学検定料振込後，金融機関の窓口で交付される「検定料納付証明書(大学用)」を切り離し，出願書類に <b>同封</b> すること。 詳しくは「 <b>4. 検定料について</b> 」を参照。	○	○
④ 受験票・写真票	本研究科所定の用紙に必要な事項を記入し，写真は，出願前3ヵ月以内に撮影した正面上半身無帽のもの(縦4cm×横3cm)を貼付すること。	○	○
⑤志願者整理票 ・宛名票	本研究科所定の用紙に記入すること。	○	○
⑥封筒 (受験票等送付用)	封筒(長形3号)に住所，氏名及び郵便番号を明記し，速達郵便料金の切手362円分を貼付すること。	○	○
⑦外国人登録済証明書	外国籍を有する者は市区町村長発行のもので，出願前1ヶ月以内に交付されたものを提出すること。	該当者	該当者
⑧学業成績証明書	出身大学の学長(学部長)が作成したもの。大学院在籍中，または修了の場合は，大学院のものも合わせて提出すること。	○	○
⑨卒業(見込)証明書	出身大学の学長(学部長)又は出身学校長が作成したもの。大学院修了または修了見込の場合は，大学院のものも合わせて提出すること。	○	○
⑩志願理由書	A4横書1～2枚(1600字以内)，ワープロ又はパソコンで作成したもの(なぜ法曹になりたいか，どのような法曹になりたいか，本法科大学院を選んだ理由は何か等を中心に。) 「志願理由書」とタイトルをつけ，氏名はタイトルの次段右側に記入すること。 複数枚にわたる場合は， <u>ホチキス止めにはせず</u> ，ページ下中央にページ番号を付すこと。	○	○
⑪推薦書	A4横書1枚(800字以内)，ワープロ又はパソコンで作成したもの。但し推薦者の署名は必要。厳封の必要はない(人物を判断する資料にするためであり，上司，指導教授，家族，友人等誰に書いてもらうかは各自の判断に任せる。) 「推薦書」とタイトルをつけ，タイトルの次段右側に，推薦者の氏名・住所・受験者氏名・受験者との関係を記入すること。	(注1) 任意	(注1) 任意

<p>⑫TOEFL又はTOEIC のスコア</p>	<p>TOEFL(PBT, iBT いずれも可, 但しTOEFL-ITPは不可)またはTOEIC(TOEIC-IPは不可)のどちらか一方のスコアに限る。<u>2013年8月以降に受験したものを有効とする。</u>TOEFLは"Examinee's Score Record"のコピーを, TOEICは「公式認定証」(コピー不可)を提出すること。</p>	<p>(注2) ×</p>	<p>○</p>
-------------------------------	--	-------------------	----------

(注1) 但し, 提出した場合は評価の対象となり得ます。

(注2) 但し, 入学志願票の資格・特技を証明するものとして提出することはかまいません。

※ 外国語で作成された出願書類には日本語の訳文をつけてください。

※ 平成28年度本研究科A日程またはB日程の入試に出願した方は, 適性試験の成績の提出は不要です。

※ 提出期限までに準備できない書類等がある場合には, 下記(4)の問合せ先に相談してください。

(3) 出願に関する注意

- ① 出願書類の受付後, 提出書類の差し替え, 返却及び記載事項の変更は認めません。
- ② 出願書類に記入もれ, その他不備がある場合は受け付けません。
- ③ 出願書類の偽造や内容の改ざん, 記載と相違する事実が発見された場合は, 入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- ④ 志願者全員に「受験票」及び選抜試験の日程等を示した「選抜試験受験要領」を**平成28年2月23日(火)までに送付(発送)します。**

(4) 出願書類の提出先および出願・試験に関する問合せ先

**琉球大学 法科大学院係** (文系総合研究棟1階 事務室)

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

TEL : 098-895-8091 FAX : 098-895-8187

E-mail : law@w3.u-ryukyu.ac.jp

Webサイト : <http://www.law.u-ryukyu.ac.jp/>

**4. 検定料について**

検定料 30,000円 (別添「検定料振込書」を使用してください)

**検定料振込期間**

平成28年1月25日(月)～2月19日(金)

① 振込方法

- i) 検定料振込書の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。  
《依頼日, 入学志願者氏名(フリガナ), 住所, 振込先(枠内に○印)》
- ii) 必ず金融機関(銀行等)の窓口で払い込み, ATM(現金自動預払機)は使用しないでください。
- iii) 振込手数料については, 志願者本人負担となります。
- iv) 金融機関窓口から「検定料納付証明書(大学用)」を受け取る際は, 取扱金融機関収納印を確認してください。

v) 「検定料納付証明書（大学用）」は出願書類に同封して提出してください。

**※この募集要項添付の「検定料振込書」が使用できない場合は、各金融機関備付の振込依頼書で振込んでください。**

振込依頼人氏名は、先に募集区分（法務研究科は 811），次に志願者本人氏名としてください。

例) 811 タ`イカ`ク タロウ

振込先口座、金額及び募集区分は「検定料振込書」で確認してください。

**受領書の写しを「検定料納付証明書（大学用）」の代わりに提出してください。**

## ② 留意事項

i) 検定料が振込まれていない場合、「検定料納付証明書（大学用）」が出願書類に同封されていない場合、「検定料納付証明書（大学用）」に取扱金融機関収納印がない場合は、入学願書を受理しません。

ii) 既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

ア. 検定料を振込んだものの、出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま受付期限が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）

イ. 誤って検定料を二重に振込んだ場合。

ウ. 特別措置対象者（「16. 特別措置」）を参照）が検定料を振込んだ場合。

※上記（ア・イ）に該当する場合は、本募集要項添付の「返還金払戻請求書」に必要事項を記入し、払い戻しの理由を選択、氏名欄へ押印のうえ、「検定料納付証明書（大学用）」を同封して下記へ送付してください。

※上記（ウ）に該当する場合は、返還手続（「16 の（3）申請の方法を参照」を行ってください。

送付期限：平成 28 年 3 月 31 日（木）

送付先： 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地

琉球大学財務部経理課収入・支出係 TEL：098-895-8058

注 1 封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください。

注 2 返還は銀行振込で行います。保護者名義口座の場合は必ず続柄も明記してください。ゆうちょ銀行口座を指定する場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号を明記してください。返還には請求書受理後 2～3 ヶ月程度かかります。



## 5. 選抜方法

### (1) 2年コース（法学既修者対象）

一般選抜：法律試験と面接試験を実施し、適性試験の成績及び他の提出書類と合わせて総合的に判断します。ただし、受験した5科目の法律試験のうち1つでも30%未満の得点の科目があったときは、総合点のいかんにかかわらず、不合格とします。また、面接試験の点数が平均点を著しく下回ったときは、不合格とすることがあります。なお、適性試験の成績が著しく低い者（おおむね下位15パーセント以下の「スコア」しか取れなかった者がこれに該当します。）についての合否判定は、慎重に行います。

特別選抜：法律試験と面接試験を実施し、TOEFL または TOEIC のスコア、適性試験の成績及び他の提出書類と合わせて総合的に判断します。ただし、受験した5科目の法律試験のうち1つでも30%未満の得点の科目があったときは、総合点のいかんにかかわらず、不合格とします。また、面接試験の点数が平均点を著しく下回ったときは、不合格とすることがあります。なお、適性試験の成績が著しく低い者（上記参照）についての合否判定は、慎重に行います。

### (2) 3年コース（法学未修者対象）

一般選抜：面接試験を実施し、適性試験の成績及び提出書類と合わせて総合的に判断します。ただし、面接試験の点数が平均点を著しく下回ったときは、総合点のいかんにかかわらず、不合格とすることがあります。なお、適性試験の成績が著しく低い者（上記参照）についての合否判定は、慎重に行います。

特別選抜：面接試験を実施し、TOEFL 又は TOEIC のスコア、適性試験の成績及び提出書類と合わせて総合的に判断します。ただし、面接試験の点数が平均点を著しく下回ったときは、総合点のいかんにかかわらず、不合格とすることがあります。なお、適性試験の成績が著しく低い者（上記参照）についての合否判定は、慎重に行います。

## 6. 試験科目等

### (1) 2年コース（法学既修者対象）

科 目	内 容	配 点	
		一般選抜 (100点)	特別選抜 (100点)
適性試験の成績	日弁連法務研究財団の2015年法科大学院全国統一適性試験の成績。なお、第1部から第3部までの合計点をもってその成績とする。	10点	10点
提出書類	入学志願票，志願理由書，成績証明書，推薦書（任意）	5点	5点
面 接	提出された書類を資料として個人面接を行い，法曹（法律家）の資質や本法科大学院への適性があるかどうかを見る。	10点	10点
法律試験	下表に掲げた試験科目につき，論述式の試験を行い，同表記載の配点で採点した上で，これを右欄記載の点数に換算した点数をもって，その成績とする。	75点	55点
TOEFLまたは TOEICのスコア	TOEFL(PBT, iBT いずれも可，ただしTOEFL-ITPは不可)またはTOEIC(TOEIC-IPは不可)のどちらか一方のスコア。 必要最低点については，出願資格の欄を参照すること。		20点

#### 法律試験の試験科目と配点

科 目	配 点	出 題 範 囲 等
憲 法	100 点	
刑 法	100 点	
民 法	150 点	
商 法	50 点	会社法（総則を除く。）に限る。
民訴法	50 点	上訴・再審の部分を除く。
合計	450 点	

※なお，商法及び民訴法は，200 字程度の短文の事例問題を出題する。

(2) 3年コース（法学未修者対象）

科 目	内 容	配 点	
		一般選抜 (100点)	特別選抜 (100点)
適性試験の成績	日弁連法務研究財団の2015年法科大学院全国統一適性試験の成績。なお、第1部から第3部までの合計点をもってその成績とする。	30点	10点
提出書類	入学志願票，志願理由書，成績証明書，推薦書（任意）	10点	10点
面 接	提出された書類を資料として個人面接を行い，法曹（法律家）の資質や本法科大学院への適性があるかどうかを見る。なお、当日、面接者が提示する課題に関する質疑応答も評価の対象となる。	60点	50点
TOEFLまたは TOEICのスコア	TOEFL(PBT, iBT いずれも可，ただしTOEFL-ITPは不可)またはTOEIC(TOEIC-IPは不可)のどちらか一方のスコア。 必要最低点については，出願資格欄を参照すること。		30点

## 7. 試験日時

※ 集合時間、注意事項等は「選抜試験受験要領」に記載します。

### (1) 2年コースの試験日時

平成28年2月28日(日)	
時間	科目
9:30~11:00	法律試験(民法)
11:20~12:20	法律試験(刑法)
13:15~14:15	法律試験(憲法)
14:30~15:00	法律試験(商法)
15:05~15:35	法律試験(民訴法)
15:45~	面接

### (2) 3年コースの試験日時

期 日	科 目	時 間	備 考
2月27日(土)~ 3月6日(日)	面 接	適 宜	日時は相談のうえで決めます。

## 8. 試験場

試験場は、琉球大学試験場とその他の会場(札幌・仙台・東京・大阪・名古屋・福岡等の中核都市または受験生が居住する地の県庁等所在地等にある適宜の会場)があります。出願の際、希望する試験場を選択してください。

琉球大学以外の具体的な試験場については、対象の受験生に追ってお知らせします。

## 琉球大学試験場

試験場の建物入口において注意事項及び試験室配置図（面接の集合場所を含む）を掲示します。

試験場	琉球大学 法文学部（千原キャンパス） 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
交通機関	○那覇バスターミナル(泉崎)発 ・琉大(首里経由)線(97番)に乗り「琉大東口」下車 ・琉大線(98番)に乗り「琉大北口」下車 ○沖縄都市モノレール(ゆいレール)の首里駅(終点)で下車し、タクシーを利用して琉球大学へ。交通事情により異なりますが、所要時間は約30分、運賃は約1,500円です。 ※法文学部最寄りの大学通用門は、「琉大東口」です。
試験場案内図	

## 9. 合格者発表

平成28年3月17日(水) 午前11時

本学文系総合研究棟玄関前に掲示するとともに、本人あてに合格通知書と「入学者心得」および入学手続き書類を郵送します。

琉球大学法科大学院ホームページでも提供します。不合格者への通知は行いません。

## 10. 入学手続

平成28年3月23日(水)～3月25日(金)

詳細については、合格者あてに別途通知します。

## 11. 身体に障害を有する志願者の事前相談

身体に傷害がある場合は、受験上および修学上特別な配慮を要する場合がありますので、事前に法科大学院係（098-895-8091）に相談してください。

## 12. 入学料及び授業料

入学料は銀行振込となります。詳細は「入学者心得」でお知らせします。

入学料 282,000 円（予定）

授業料 前期分 402,000 円（年額 804,000 円）（予定）

（注）① 上記については予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

② 授業料の納入については、申し出により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入することができます。

③ 入学料の免除または授業料の免除を希望する者（対象者については、合格者に送付する「入学者心得」で詳しく説明します。）は所定の免除申請手続きを行うことにより、免除の可否が決定されるまでの間、入学料又は授業料の納付が猶予されます。

## 13. その他経費

入学時には、入学料及び授業料とは別に、学研災付帯賠償責任保険・法科大学院教育研究賠償責任保険（略称：法科賠・Lコース）への加入保険料が必要です。

保険料（3ヶ年分：7,520 円）（予定）

この保険には、法科大学院の全学生が加入することとなっています。詳細は「入学者心得」でお知らせします。

## 14. 入試情報開示に関する事項

### (1) 入試問題

平成 28 年 4 月以降、琉球大学法科大学院ホームページで公開します。

### (2) 入試に関する統計（志願者数、合格者数、その他統計）

入試に関する統計は、その都度公表していく予定です。入学者が決定しましたら、最終的な統計を公表します。

### (3) 試験成績

本研究科では、平成 28 年度入学者選抜に係る個人成績を本人に限って開示します。

試験成績開示の手続についての詳細は琉球大学法科大学院ホームページをご覧ください。

# 充実した支援体制

## 学修面の支援体制

### ★ 指導教員制度

学年ごとに2名の指導教員が配置されており、履修方法・成績・進路・経済的支援制度の利用等についての相談を随時受け付け、親身になって指導・アドバイスをを行います。

### ★ 沖縄弁護士会との連携

沖縄弁護士会の琉球大学法科大学院に対する強力な連携・支援体制のもと、ロー・スクール出身の若手弁護士が、AA（アカデミック・アドバイザー）として授業をサポートし、また答案練習会やオーダーメイド・ゼミのチューターを積極的に行います。

## 経済面の支援体制

### ★ 授業料免除制度

#### ○ 成績優秀者授業料免除制度

本制度は、成績優秀者に対して年間授業料の全額または半額を免除するものです。新入生については入学者選抜試験の成績を、また在生については法科大学院における前年度の成績をもとにして免除が決定されます。

授業料免除の対象者には、合格発表後、速やかに通知いたします。次年度以降は、各学年につき数名の成績優秀者が授業料の全額または半額について免除される予定です。

#### ○ 経済的理由等による入学料・授業料免除制度

経済的理由等により入学料及び授業料の納付が著しく困難な者を対象として、入学料の免除・徴収猶予制度、授業料免除制度を設けております。

#### ○ 長期履修制度（詳細はホームページで確認してください。）

有職・育児等の理由により、標準修業年限（3年）で修了することが困難な学生について、申請により、3年間分の学費で4年間から6年間かけて計画的に履修できる制度です。平成27年度までに、11名が承認されています。

#### ○ 授業料の細分化設定制度

標準修業年限（3年）を超えて在学している場合の授業料は、それぞれの期において履修すべき単位数に応じた金額となります。

### ★ 独自奨学金制度

#### ○ ①鎌倉フェロシップ・沖縄ロースクール奨学金

#### ○ ②当山フェロシップ・琉球大学法科大学院奨学金

どちらも新入生を対象とした返還義務のない給付型の奨学金で、①は、一般財団法人鎌倉フェロシップのご好意により1～2名に年額36万円が3年間（3年コースの場合）給付されます。また、本学出身者で沖縄弁護士会会長などの重職を歴任された当山尚幸弁護士からのご寄附をもとに昨年度から新たに始まった②も、同内容の給付が1名に対してなされます。いずれも入学後に申請書類を提出していただき、プレゼンテーション等の審査を経て対象者を決定します。

※ 上記の奨学金のほか、日本学生支援機構の奨学金も利用できます。